

平成28年度 第2回  
京都市地域リハビリテーション推進会議  
次第

平成29年2月2日(木)午後3時から  
地域リハビリテーション推進センター研修室

[目次及び資料一覧]

- 1 平成28年度地域リハビリテーション推進事業及び相談事業の実施状況及び課題等について(4月~12月) . . . . . P 1~10
  - (別紙1) 地域リハビリテーション推進研修実施状況 . . . . . P11~12
  - (別紙2) 地域リハビリテーション推進研修内容一覧 . . . . . P13~22
  - (別紙3) 地域リハビリテーション推進研修アンケート結果 . . . . . P23~24
  - (別紙4) 地域リハビリテーション推進研修職種別延べ受講者数 . . . . . P25~26
  - (別紙5) 電動車椅子講習会チラシ . . . . . P27~28
  - (別紙6) 第31回~33回地域リハビリテーション交流セミナーチラシ . . . . . P29~34
  - (別紙7) 「リハ✕エール」第5号 . . . . . P35~38
  - (別紙8) 体力測定会&からだの相談会チラシ . . . . . P39~40
  - (別紙9) 失語症のある方の相談支援事業チラシ . . . . . P41~42
  
- 2 平成28年度高次脳機能障害者支援の実施状況及び課題等について(4月~12月) . . . . . P43~50
  - (別紙10) 高次脳機能障害入門講座チラシ . . . . . P51~56
  - (別紙11) 高次脳機能障害専門研修チラシ . . . . . P57~58
  - (別紙12) 高次脳機能障害支援者のためのステップアップ研修チラシ . . . . . P59~62
  - (別紙13) 京都府リハビリテーション支援センター事業概要(平成27年度) . . . . . P63~64
  - (別紙14) 障害者支援施設訓練プログラムの内容 . . . . . P65~72
  
- 3 その他

## 京都市地域リハビリテーション推進会議委員名簿

平成28年4月1日現在

氏 名	所 属 機 関 等
上原 春男	学識経験者／医師
加藤 博史	学識経験者／龍谷大学短期大学部教授
西村 幸秀	京都府医師会理事
沖 豊彦	京都市社会福祉協議会 京都市福祉ボランティアセンター 所長 地域福祉推進室ボランティア・地域支援部 部長
榊 信一	京都市身体障害者福祉施設長協議会会長代行
並河 茂	京都府理学療法士会会長
平山 聡	京都府作業療法士会会長
瀧澤 透	京都府言語聴覚士会会長
長谷川泰子	京都府看護協会常任理事
植松 理香	京都医療ソーシャルワーカー協会事務局長
酒伊 良行	京都市障害者地域生活支援センター連絡協議会理事
吉田 信吾	京都市居宅介護等事業連絡協議会理事
井桁 光	京都市生活介護等事業所連絡協議会運営委員
井上 基	京都府介護支援専門員会会長
中田 景子	京都市保健福祉局障害保健福祉推進室企画課長
伊藤 宏	京都市教育委員会事務局指導部総合育成支援課長
西尾 健	京都市地域リハビリテーション推進センター所長

事務局 京都市地域リハビリテーション推進センター  
〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30番地  
電 話 075-823-1655  
FAX 075-842-1545

事務局員氏名	職 名
西村 文恵	次長
舟瀬 伴子	相談課長
市野 繁和	支援施設課長
小山 雅史	企画課企画係長
出井 正之	相談課相談判定係長
上藤 恵子	相談課地域リハビリテーション推進係長
南部 美紀子	相談課高次脳機能障害支援係長
吉田 弘子	企画課企画担当

# 平成 28 年度地域リハビリテーション推進事業及び相談事業の実施状況及び課題等について（4月～12月）

## 1 地域リハビリテーション推進事業

### (1) 研修・指導事業

#### ア 地域リハビリテーション推進研修（別紙1～4）

市内福祉サービス事業所等に勤務する職員に対して、リハビリテーションをはじめ福祉・介護サービスに関する知識及び技術の向上を図ることを目的に研修を実施している。（平成28年度の研修は12月で全カリキュラム終了）

座学については、前期実施分は昨年度と比較して参加者が減少（約3割減）したが、後期実施分については、前期の状況を踏まえ、内容をより実践的なものにしたことや広報活動に力を入れた（※）こと等により、昨年度の2倍以上の参加者を得ることができた。

実習についても、内容についてニーズに沿ったテーマを設定したことから、昨年度より多くの方に御参加いただくことができた。講座によっては定員を超える申込をいただき、可能な限り受入は行っているものの、やむを得ずお断りするケースも生じた。

また、受講者に実施したアンケートについては、全体として約90%の方に「満足」と回答いただくことができた（別紙3）（昨年度と概ね同様の結果）。

※ 各研修の開催前に研修内容を詳細に記載した「号外」を作成し（第1号～第8号）、関係機関に送付したり、イベント開催時に研修の周知を行うなどの工夫をした。

＜研修の実施状況＞ ※座学の定員増は会場となる研修室の収容人員を基に見直しを行った結果によるもの（50→64人に変更）

			平成27年度	平成28年度	増減
前期 (初任者 向け)	座学	講座数	10	11	1
		定員数	500	704	204
		出席者数	583	412	△171
	実習	講座数	8	12	4
		定員数	48	80	32
		出席者数	49	82	33
後期	座学	講座数	13	19	6
		定員数	630	1,188	558
		出席者数	316	722	406
	実習	講座数	20	15	△5
		定員数	159	162	3
		出席者数	93	93	0
合計	座学	講座数	23	30	7
		定員数	1,130	1,892	762
		出席者数	899	1,134	235
	実習	講座数	28	27	△1
		定員数	207	242	35
		出席者数	142	175	33

## 【課題及び今後の方向性】

- 知的障害・発達障害、精神障害関連のテーマについては、障害者手帳交付者数が年々増加傾向にあり、福祉サービス事業所等の利用者が増加しているため、近年受講希望者が増加している。また、障害者総合支援法に位置づけられた難病患者支援については昨年度に比べて今年度減少している。今後は福祉サービス事業所の課題等について調査し、よりニーズに即した内容・テーマを設定する。
- 制度説明や概念的な講義については受講希望者が少なく、日々の支援に直接結びつく実践的な内容については受講希望者が多いことから、同日に制度説明の講義と併せて開催するなど実施方法の工夫を検討する。
- 実習講座については、よりニーズに沿った内容を検討するとともに、補講などの実施方法や受講定員等の見直しを行い、希望者の受け入れについて検討する。
- 民間企業等についても研修対象として検討する。
- 研修事業の周知方法について、より広くPRできるよう検討する。

### ＜関連資料＞

- (別紙1) 地域リハビリテーション推進研修実施状況
- (別紙2) 平成28年度地域リハビリテーション推進研修内容一覧
- (別紙3) 平成28年度地域リハビリテーション推進研修アンケート結果
- (別紙4) 平成28年度地域リハビリテーション推進研修職種別延べ受講者数

## イ 総合支援学校等教職員研修事業

市内の総合支援学校、肢体育成学級に従事する教職員のリハビリテーションに関する知識及び技術の向上を図るため、各校の希望に沿った研修等を実施している。

(各年度とも12月末日現在)

	平成27年度	平成28年度
事例研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西総合支援学校 12回 延べ37名受講</li> <li>・呉竹総合支援学校 3回 延べ14名受講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西総合支援学校 13回 延べ45名受講</li> <li>・高雄小学校 1回 3名受講</li> </ul>
肢体育成学級派遣研修・研究会(西ブロック)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大藪小学校 2回 延べ14名受講</li> <li>・宇多野小学校 2回 延べ16名受講</li> <li>・嵯峨野小学校 2回 延べ15名受講</li> <li>・西京極中学校 2回 延べ14名受講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太秦小学校 2回 延べ14名受講</li> <li>・西院小学校 1回 11名受講</li> </ul>
肢体育成学級研究会(東ブロック)	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小栗栖中学校 2回 延べ12名受講</li> </ul>
肢体育成学級研究会(呉竹ブロック)	1回 12名受講	—

**【課題及び今後の方向性】**

○西総合支援学校については、来年度も事例研修の講師派遣の依頼を受けており、継続して支援する方向で検討している。

**ウ 障害福祉サービス事業所等訪問支援事業**

地域リハビリテーション推進センターの専門職員（理学療法士等のセラピスト）を市内の生活介護事業所等に派遣し、事業所職員に対して、利用者の身体状況の把握や機能維持及び適切な介助・支援の方法等について助言を行っている。

平成27年度から、訪問支援対象事業所に居宅介護事業所及び相談支援事業所を加え、障害福祉サービス関係事業所すべてを対象としている。

また、平成28年5月には、これまでの支援事例をまとめた「障害福祉サービス利用者支援事例集」を作成し、市内の障害福祉サービス事業所に配布する等、事業のPRにも積極的に努めている。

**<訪問実績>**

(各年度とも12月末日現在)

		平成27年度	平成28年度	増減
生活介護	訪問箇所数（箇所）	11	14	3
	延訪問回数（回）	30	22	△8
	延指導職員数（人）	79	52	△27
就労移行・ 就労継続支援	訪問箇所数（箇所）	3	8	5
	延訪問回数（回）	4	10	6
	延指導職員数（人）	5	17	12
居宅介護	訪問箇所数（箇所）	6	18	12
	延訪問回数（回）	6	4	△2
	延指導職員数（人）	30	25	△5
その他	訪問箇所数（箇所）	0	6	6
	延訪問回数（回）	0	3	3
	延指導職員数（人）	0	15	15
計	訪問箇所数（箇所）	20	46	26
	延訪問回数（回）	40	39	△1
	延指導職員数（人）	114	109	△5

※訪問実績のある事業所種別のみ掲載

※訪問箇所数とは、参加事業所職員に助言・指導した事業所数のこと。合同支援として利用者宅など一回の訪問で複数の事業所職員に対し、助言・指導した場合、訪問回数は1回でカウントしている（最も中心となる事業所でカウント）が、訪問箇所数としては、各事業所に計上しているため、訪問箇所数が延訪問回数を上回ることがある。

※その他とは、相談支援事業所等である。

【課題及び今後の方向性】

- 今年度事例集を作成し、福祉サービス事業所や支援者等に配布したところ、新たな事業所からの相談件数は増加しているが、全体事業所数（約1,800箇所）から見ると事業利用の広がりが不十分であることから、対象事業所の見直しや訪問後のサポート等実施方法について再検討する。

エ 電動車椅子講習会（別紙5）

京都府警察本部交通安全企画課及び電動車いす安全普及協会の協力を得て、電動車椅子を利用している方、これから利用を考えている方やその介助者、更にケアマネジャーなど利用に関する相談を受ける立場にある方を対象に、電動車椅子を安全に利用していただくため、適切な操作方法等について実技を中心とした講習会を実施している。

近年、参加者数が伸び悩んでいたが、今年度は定員を20名（従来は15名）に増やし、積極的に事業のPRを行った結果、26名の申込者があり（当日参加は22名）、従来より多くの方に御参加いただくことができた。

<電動車椅子講習会実施状況> ※定員は27年度15名、28年度20名

	参加人数（人）	
	平成27年度	平成28年度
第1回	（10月）12	（10月）22
第2回	（10月）12	（3月実施予定）
計	24	22+3月分

【課題及び今後の方向性】

- 今年度については、より参加しやすいよう10月と3月の開催とし、各関係機関へ広く周知している。10月について参加者数は増加している。
- 来年度についても回数、実施時期、周知方法等について検討し積極的展開を図る。

<関連資料>

（別紙5）電動車椅子講習会チラシ

オ 関係機関等への講師派遣研修

関係機関等からの依頼に基づき、専門職員等による講師派遣を行い、リハビリテーションに関する知識及び技術の向上を図っている。

<講師派遣の状況> （各年度とも12月末日現在）

	平成27年度	平成28年度
箇所数	6	6
派遣回数（回）	11	12
受講者数（延べ人数）	168	444

<講師派遣の内訳>

(各年度とも12月末日現在)

年度	依頼者	派遣目的	派遣職員	参加者	人数	派遣回数
平成 27年 度	市鳴滝総合支援学校	介護職員初任者研修養成講座	PT, OT, 看護師	同校高校3年	2名 (延べ12名)	派遣日数は 延べ6日間
	市保健福祉局長寿社会部介護保険課	認定調査員新任研修会	PT	調査員	40名	
	上京障がい児者ネットワーク	入浴時介助の方法や入浴関連用具の活用及び浴室の環境調整に係る研修	PT OT	ヘルパー等	21名	
	居宅介護等事業連絡協議会	腰痛防止講義, 介助及び移乗実習	PT	ヘルパー等	55名	
	京都市社会福祉協議会	やさしい介護講座(入浴)	PT OT	一般市民	24名	
	京都市西部地域自立支援協議会	障害福祉サービス事業所学習会(車いすの安全な使い方)	PT OT	ヘルパー等	16名	
合計	6箇所				延べ168名	11回
平成 28年 度	市鳴滝総合支援学校	介護職員初任者研修養成講座	PT, OT, 保健師, 看護師	同校高校3年	6名 (延べ36名)	派遣日数は 延べ6日間
	太陽生命㈱京都支社	肢体不自由者の特性及び配慮	OT	同社社員	110名	
	総合支援学校姿勢運動研究会	発達の視点を生かした手指機能の向上	OT	教員	19名	
	京都地域リハビリテーション研究会	当センターにおける地域リハの取組	PT	同会会員等	63名	
	京都府視覚障害者協会	車椅子講習	OT	ガイドヘルパー	176名	派遣日数は 延べ2日間
	居宅介護等事業連絡協議会	移乗介助をメインにした腰痛予防	PT	ヘルパー等	40名	
合計	6箇所				延べ444名	12回

【課題及び今後の方向性】

- 今年度新たに民間企業や視覚障害者協会から講師依頼を受けている。求められる研修内容については多様化しており、ニーズの高さもうかがえることから、来年度は高次脳機能障害者支援センターの取組と統合して「出張講座(仮称)」として、新たに立ち上げ、積極的に事業展開を図る。

カ おはなし広場

言語に障害のある当センターの元利用者を対象に、自信をもって社会参加できるように、語らいの場を提供している。

<おはなし広場実施状況>

(各年度とも12月末日現在)

年度	回数	参加者	1回当たり人数
平成27年度	22	117	5.3
平成28年度	24	105	4.4

【課題及び今後の方向性】

- 参加者の高齢化や家族の送迎などの生活環境が変化しているなかで、年々参加人数が減少傾向にあることから、参加者のニーズや失語症の方を取り巻く現状の把握を行い、事業のあり方を検討する。

キ 放課後等デイサービス関係職員研修（基礎編）【平成28年度新規事業】

平成24年度に創設された放課後等デイサービスの支援内容は多種多様で、対象年齢も幅広いことから、提供されるサービスの質的向上を図るため、今年度新たに、障害保健福祉推進室、発達相談所と共同で放課後等デイサービス事業所において支援に携わっている職員対象に基礎知識及び支援方法の研修を実施することとした。（内容としては、発達障害の特性、行動障害に対する対応、肢体不自由児の支援のポイント等であり、肢体不自由児の支援については当センター職員が講師）

<実施状況>

年度	グループ	開催日	申込者数
平成28年度	Aグループ	11/17, 1/11, 3/1	延べ226人（52事業所）
	Bグループ	11/30, 1/12, 3/8	延べ177人（47事業所）

(2) 啓発事業

ア 地域リハビリテーション交流セミナー（別紙6）

障害の有無に関わらず豊かに生活できる環境づくりについて、広く市民に啓発することを目的に開催している。

平成27年度は2回実施し（従来は年1回）、平成28年度は西部及び南部の障害者地域生活支援センターとの共同開催も含め、3回の実施を予定している。

<平成28年度の実施状況（予定含む）>

- ①第31回：平成28年11月29日「ユニバーサルデザインとは？」 参加者数：93人
- ②第32回：平成29年1月18日「望む生き方を実現する為に何が必要なのか！」 参加者数：153人  
※京都市西部障害者地域生活支援センター「うきょう」と共同開催
- ③第33回：平成29年2月8日「災害から見えてきた障害のある方の地域生活を考える」  
※京都市南部障がい者地域生活支援センター「あいりん」と共同開催 定員：100人

(参考) 平成27年度実績

- ①第29回：平成27年12月4日「高次脳機能障害のある方が地域で暮らすために」 参加者数：186人
- ②第30回：平成28年1月27日「介護ロボットに触れてみよう」 参加者数：112人

### 【課題及び今後の方向性】

- 今年度は地域生活支援センター（西部、南部）との合同開催を含め、3回実施することとしたが、来年度については、今年度の状況を踏まえ、交流セミナーの趣旨・目的を踏まえて、内容や実施方法については検討する。

#### ＜関連資料＞

（別紙6）第31回～33回地域リハビリテーション交流セミナーチラシ

### イ センター機関紙「リハ☆エール」の発行（別紙7）

- センター事業に関する情報等を発信するために発行し、関係機関に配布している。（3箇月に1回程度の頻度で発行）

#### ＜平成28年度の発行状況＞

発行月	内容
平成28年 5月	・今後の事業予定 ・事業実施報告 ・特集（障害者支援施設）
平成28年 8月	・今後の事業予定 ・刊行物作成案内 ・特集（補装具）
平成28年11月	・今後の事業予定 ・事業実施報告 ・特集（ロコモ体操）

### 【課題及び今後の方向性】

- 予算等の関係からセンター内のカラーコピー機で印刷を行っているが、より目に留めていたけるよう、紙面を工夫するとともに、印刷業者による印刷を検討する。
- 発行頻度については、引き続き3箇月に1回程度（年4回程度）を予定している。

#### ＜関連資料＞

（別紙7）「リハ☆エール」第5号（平成28年11月発行）

### ウ 「ほほえみ広場2016（※）」でのブース出展及びステージ出演

京都市障害保健福祉推進室が主催する「ほほえみ広場2016」（10月15日（土）、梅小路公園芝生広場）に当センターもブースを出展し、当センターの取組についてPRするとともに、ステージにも出演し、ロコモ体操の実演を行った。当日の参加者数は一般市民、障害のある方等併せて7,800人とかなり多く、当センターについての周知が図れた。

※ 障害のある市民の方への理解の促進と社会参加の推進を目的に、障害のある人もない人も共に交流する催し。ステージ企画、どなたでも参加できるレクリエーション、ほっとはあと製品（授産製品）の販売や、飲食模擬店など様々な催しが行われる。

### エ 「自助具フォーラム2016」の共催

「京 自助具館」自助具フォーラム2016実行委員会が主催する「自助具フォーラム2016」（12月3日（土）、当センター体育館）について、当センターも共催者として参画した。（同フォーラムを地域リハビリテーション推進研修の1講座として位置付けた。）

## 2 相談事業

### (1) からだの動きに障害のある方の体力測定会&からだの相談会（別紙8）

自身の体力を確認し、身体機能の維持・向上及び社会参加の促進を図ることを目的として、平成27年度から新たに実施している。

昨年度は参加者のうち6割近くが当センター内の障害者支援施設利用者であり、一般のからだに障害のある方の参加が少なかったことが課題として残っていた。

今年度は、体力測定会終了後、専門職員（医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、義肢装具士、管理栄養士、ケースワーカー）による個別相談会もあわせて実施するとともに、関係機関に対し、積極的に事業のPRを行った結果、障害者支援施設利用者を参加対象外とした（※）にも関わらず、昨年度以上に多くの方に御参加いただくことができた。

※障害者支援施設のプログラムの一環として定期的に体力測定を実施することとなったため、参加対象外とした

#### <体力測定会&からだの相談会実施状況>

※定員は各回とも20名

		平成27年度	平成28年度
秋開催分	第1回	12(4)	中止(台風接近) ※申込14名
	第2回	10(7)	20名
春開催分	第1回	16(11)	2~3月に開催予定
	第2回	17(9)	

※( )内は当センター障害者支援施設からの参加者数で内数(28年度は参加対象外)

※測定項目: 血圧、握力、下肢筋力、棒反応、長座位体前屈、バランス機能、歩行速度など

#### 【課題及び今後の方向性】

- 引き続き積極的なPRにて事業の周知をはかり、参加者増を目指す。
- 健康維持への興味、関心の意識を高めてもらう機会となるよう内容を工夫していく。

#### ◀関連資料▶

(別紙8) 体力測定会&からだの相談会チラシ

### (2) 失語症のある方の相談支援事業（別紙9）【平成28年度新規事業】

今年度の新たな取組として、失語症のある方やその家族、支援者に対して、個別相談やグループワーク等により、失語症の方のコミュニケーション手段の助言や会話の練習を行う事業を展開している。

#### 【課題及び今後の方向性】

- 今年度の新規事業であるため、福祉サービス事業所等への周知や各種事業開催時にちらしの配布、また京都府言語聴覚士会の研修時に説明させていただくなど、積極的にPRに努めたが、相談実績は8件(平成28年12月末現在)、継続相談件数は4件と相談件数が少なく、広がりを見せていない。
- 相談内容としては、認知症を伴う高齢者やその家族等から、医療機関での個別対応が受けられないため、ST訓練を受けさせたいといったものが多く、来年度は対象者のニーズの的確な把握に努め、事業のあり方を検討する。

＜関連資料＞

(別紙9) 失語症のある方の相談支援事業チラシ

(3) その他の専門相談

ア からだの動きに障害のある方の相談事業

障害のある方が目標を持ち、安心して社会活動・社会参画ができるよう、障害特性や各々の活動目的に対応した専門相談を実施している。

また、必要に応じて、自宅訪問や障害福祉サービス事業所等訪問支援事業との連携により、在宅生活におけるアドバイスや情報提供等を行っている。

＜相談実績＞ (各年度とも12月末日現在)

	平成27年度	平成28年度
相談件数	104	68

【課題及び今後の方向性】

- 昨年度は事業の開始年度でもあり、旧身体障害者リハビリテーションセンター附属病院の元患者からの問合せ等もあり、相談件数が多かった。
- 事業開始の2年目となり相談件数は減少傾向にあるが、その内容は問合せよりもセラピストによる具体的な助言等を必要とするものが多く、今後も事業のPRに努める。

イ 福祉用具・住環境相談事業

福祉用具全般に係る利用相談、疾病や事故により身体に障害を有することとなった市民の退院後の在宅生活における住環境の整備、難病などの疾患の進行に伴う生活環境の改善などの助言や提案を行っている。

また、必要に応じて、自宅訪問や障害福祉サービス事業所等訪問支援事業との連携により、指定相談支援事業所やサービス事業所等への協力や働きかけを行っている。

＜相談実績＞ (各年度とも12月末日現在)

	平成27年度	平成28年度
相談件数	39	8

【課題及び今後の方向性】

- 事業開始の昨年度においてさえ当初の想定よりも相談件数は伸びなかったが、今年度に入ってもその状況は顕著である。
- 障害福祉サービス事業所訪問支援事業の場で、福祉用具や住環境に関する相談を受けることはあるが、それらは障害福祉サービス事業所訪問支援事業に計上しておりこちらには反映されていない。
- 福祉用具や住環境に関することについては、退院時に各医療機関等が退院前訪問指導等を通じて丁寧な対応をしていること、退院後においても地域の福祉事務所や地域生活支援センター等で対応されていることから、相談件数が伸びないものとする。
- 今後はこの事業を継続しつつも、他の専門相談事業との融合を図るなど、新たな事業の展開を検討する。



## 地域リハビリテーション推進研修実施状況

【座 学】

	平成27年度				平成28年度			
	内容	定員	実績	対定員実績差	内容	定員	実績	対定員実績差
前期 (初任者)	障害福祉サービスの概要	50	43	△ 7	障害福祉サービスの概要と実際の支援	64	32	△ 32
					知的障害について	64	52	△ 12
	知的障害者支援	50	67	17	知的障害者支援	64	48	△ 16
	障害者支援の実際	50	43	△ 7				
	精神障害	50	58	8	精神障害	64	59	△ 5
	精神障害～当事者の立場から～	50	58	8	精神障害のある方への支援	64	61	△ 3
	発達の遅れと支援	50	67	17				
	難病施策	50	68	18	難病施策・サービス	64	25	△ 39
	難病患者のニーズと支援方法	50	68	18	難病患者のニーズと支援方法	64	26	△ 38
	難病患者支援～当事者の立場から～	50	68	18				
	介護施策の概要	50	43	△ 7	高齢者保健福祉サービスの概要	64	23	△ 41
				地域リハビリテーションとは	64	23	△ 41	
				京都市地域リハビリテーション推進センターの取組	64	18	△ 46	
				高次脳機能障害	64	45	△ 19	
	小計(10講座)	500	583	83	小計(11講座)	704	412	△ 292
後期	★介護職のための医療的ケア	50	40	△ 10	機でないで！医療的ケアの緊急対応とリスクマネジメント	64	52	△ 12
					医療的ケア(重度心身障害者支援)	64	47	△ 17
	大切です！足のケア！	50	15	△ 35				
	失語症って何？理解と接し方	50	25	△ 25	失語症の方への理解と対応	64	28	△ 36
	ことばに遅れのある人と話すときに	50	22	△ 28				
	知っていますか？コミュニケーション	50	21	△ 29	大切です、コミュニケーション	64	26	△ 38
	発達障害①	50	37	△ 13	発達障害の特性理解とその支援	64	75	11
					発達障害のある方への支援の実際	64	77	13
	自閉症者支援の実際	50	36	△ 14				
	★精神障害のある方への支援①	50	40	△ 10	精神症状のある方への対応	64	59	△ 5
	★精神障害のある方への支援②	50	39	△ 11	精神科訪問看護について	64	33	△ 31
					就労移行支援とリハビリテーション(精神障害者)	64	41	△ 23
					うつ病について	64	46	△ 18
	腰痛からあなたを守るために！	30	14	△ 16				
	障害者虐待を防ごう！	50	11	△ 39	虐待防止と合理的配慮	64	37	△ 27
	明日から活かせる！栄養バランスのコツ	50	6	△ 44				
	いざという時のために～防災対策～	50	10	△ 40	地域で暮らすこと(現状と課題)	64	23	△ 41
					要介護度を上げない！	64	19	△ 45
					80分で分かる認知症	64	30	△ 34
					認知症の人を見守れる地域に向けて	64	17	△ 47
				アルコール依存症	64	25	△ 39	
				摂食嚥下障害とその対応	50	33	△ 17	
				口腔ケア	50	29	△ 21	
				生活を支える排泄ケア	64	25	△ 39	
	小計(13講座)	630	316	△ 314	小計(19講座)	1,188	722	△ 466
	合計(23講座)	1,130	899	△ 231	合計(30講座)	1,892	1,134	△ 758

注1) 会場は、いずれも地域リハビリテーション推進センター研修室

注2) ★は委託研修

注3) 定員の50名から64名への変更は、会場となる地域リハビリテーション推進センター研修室の収容可能人数をもとに設定し直したものの。ただし、定員を超えても可能な範囲で受講を受け入れている。

地域リハビリテーション推進研修実施状況

【実 習】

	平成27年度				平成28年度			
	内容	定員	実績	対定員実績差	内容	定員	実績	対定員実績差
前期 (初任者)	お出かけしよう!	6	6	0	お出かけしよう!	6	7	1
	お出かけしよう!	6	5	△1	お出かけしよう!	6	6	0
	ご飯を食べよう!	6	6	0	ご飯を食べよう!	6	7	1
	ご飯を食べよう!	6	7	1	ご飯を食べよう!	6	4	△2
	トイレに行こう!	6	6	0	トイレに行こう!	6	6	0
	トイレに行こう!	6	7	1	トイレに行こう!	6	8	2
	お風呂に入ろう!	6	6	0	お風呂に入ろう!	6	7	1
	お風呂に入ろう!	6	6	0	お風呂に入ろう!	6	8	2
					からだの動かし方～介助等における基本的な動かし方～	8	7	△1
					からだの動かし方～介助等における基本的な動かし方～	8	7	△1
				からだの動かし方～介助等における基本的な動かし方～	8	7	△1	
				からだの動かし方～介助等における基本的な動かし方～	8	8	0	
	小計(8講座)	48	49	1	小計(12講座)	80	82	2
後期	からだの動かし方～介助等における基本的な動かし方～	8	7	△1	からだの動かし方～介助等における基本的な動かし方～	8	9	1
	からだの動かし方～介助等における基本的な動かし方～	8	4	△4	からだの動かし方～介助等における基本的な動かし方～	8	8	0
	からだの動かし方～介助等における基本的な動かし方～	8	5	△3	からだの動かし方～介助等における基本的な動かし方～	8	7	△1
	からだの動かし方～介助等における基本的な動かし方～	8	5	△3				
	からだの動かし方～介助等における基本的な動かし方～	8	5	△3				
	からだの動かし方～介助等における基本的な動かし方～	8	7	△1				
	からだの動かし方～介助等における基本的な動かし方～	8	3	△5				
	からだの動かし方～介助等における基本的な動かし方～	8	3	△5				
	からだの動かし方～介助等における基本的な動かし方～	8	6	△2				
	からだの動かし方～介助等における基本的な動かし方～	8	4	△4				
	からだの動かし方～介助等における基本的な動かし方～	8	2	△6				
	からだの動かし方～介助等における基本的な動かし方～	8	3	△5				
	うまい自助具の活用で!できることを増やしてOOLを楽めよう	6	6	0	自助具1	20	4	△16
	うまい自助具の活用で!できることを増やしてOOLを楽めよう	6	3	△3	自助具2～全国自助具フォーラム2016～(AM)	20	3	△17
					自助具2～全国自助具フォーラム2016～(PM)	20	1	△19
	その姿勢、大丈夫?～離れた座位への対応法あれこれ～	30	16	△14	車椅子のシーティング、離れた座位への対応法あれこれ	30	23	△7
	知っていますか?～介助用リフトの正しい使い方～	6	1	△5	知っていますか?～介助用リフトの正しい使い方～	6	0	△6
	知っていますか?～介助用リフトの正しい使い方～	6	6	0	知っていますか?～介助用リフトの正しい使い方～	6	6	0
	おはなし広場に入ろう!	3	4	1				
	おはなし広場に入ろう!	3	1	△2				
おはなし広場に入ろう!	3	2	△1					
				失語症の方も一緒に楽しめるグループワーク	6	5	△1	
				お出かけしよう!	6	4	△2	
				ご飯を食べよう!	6	8	2	
				お風呂に入ろう!	6	6	0	
				トイレに行こう!	6	5	△1	
				ゲームを通したグループワーク	6	4	△2	
	小計(20講座)	159	93	△66	小計(15講座)	162	93	△69
	合計(28講座)	207	142	△65	合計(27講座)	242	175	△67

注)会場は、地域リハビリテーション推進センター研修室、体育館、ミーティングルーム、日常動作訓練室(ADL室)



平成28年度 京都市地域リハビリテーション推進研修(初任者向け)  
研修内容一覧(講座)

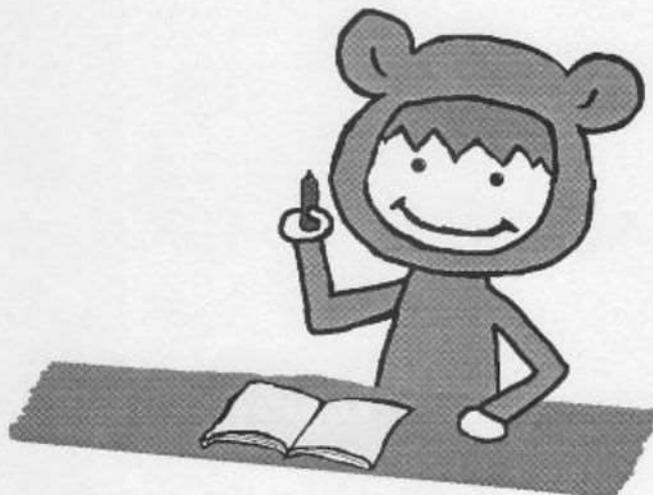
日程	申込締切	時間	研修内容	会場	定員
5/17 (火)	5/10 (火)	13:30 ～ 15:00	講座1 「地域リハビリテーションとは ～国際生活機能分類(ICF)とリハビリテーション～」 講師:上原医院 院長 上原 春男 高齢者や障害のある人が住みなれたところで安全にいきいきと生活が送れるよう支援することが地域リハビリテーションの理念です。この理念の基盤をなすICFとリハビリテーションについての基本的な理念, 社会的リハビリテーションの目的や意味について理解を深める研修です。	京都市地域リハビリテーション推進センター	各64名
		15:20 ～ 16:40	講座2 「京都市地域リハビリテーション推進センターの取組」 講師:京都市地域リハビリテーション推進センター所長 西尾 健 平成27年4月に機能再編し, 地域リハビリテーションのより一層の推進と新たなニーズである高次脳機能障害者支援に重点を置いた取組についてお話しします。		
5/27 (金)	5/20 (金)	13:30 ～ 15:00	講座3 「精神障害について」 講師:京都市こころの健康増進センター 所長 波床 将材 精神障害の特性, 統合失調症, うつ病, 認知症, 依存症, 神経症などの精神疾患に関する基本的な知識を習得する研修です。		
		15:20 ～ 16:40	講座4 「精神障害のある方への支援について」 講師:京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」所長 藤井 弘 中部障害者地域生活支援センターの支援の内容を説明し, 精神障害のある方とどのように向き合って支援するのか, 事例を交えてお話しします。		
5/31 (火)	5/24 (火)	13:30 ～ 14:30	講座5 「難病患者と取り巻く社会環境～難病の施策・サービスについて～」 講師:京都市保健福祉局保健衛生推進室保健医療課 職員 山下 智子 難病の施策・サービスについて基本的な内容を学ぶ研修です。難病医療相談事業や保健センターでの訪問等についてもお話しします。		
		14:50 ～ 16:50	講座6 「難病患者のニーズと支援方法について」 ①当事者の立場から 講師:全国多発性硬化症友の会関西支部 事務局 河合 美佐 難病のある方が実際にどのような生活をし, どのような支援を必要としているのか, 難病患者のニーズと支援方法について理解を深めます。 ②支援者の立場から 講師:中京区在宅医療センター 地域連携室 難病相談員 京都大学附属病院 地域ネットワーク医療部 看護師 瀬津 幸重 筋萎縮性側索硬化症(ALS)などの難病を持ちながら在宅生活を営む方々が, 提供される医療・介護等のサービスの充実と共に増えてきています。難病患者の生活ニーズを知るとともに, 具体的な支援の方法について学びます。		

京都市地域リハビリテーション推進センター  
1階研修室

各64名



日程	申込 締切	時間	研修内容	会場	定員	
6/2 (木)	5/26 (木)	13:30 ～ 15:00	講座7 「高齢者保健福祉サービスの概要について」 講師：京都市御池老人デイサービスセンター 施設長 秋山 博之 介護保険制度を中心に高齢者の保健福祉施策について、知っておくべき基本的な知識を習得する研修です。	京都市地域リハビリテーション推進センター	各 64 名	
		15:20 ～ 16:50	講座8 「障害福祉サービスの概要と実際の支援について」 講師：京都市障害者地域生活支援センター「らくなん」「らくとう」 所長 酒伊 良行 障害者総合支援法による障害福祉サービスの概要と、相談から支援施策利用に繋げる過程について事例を通して学ぶ研修です。			
6/8 (水)	6/1 (水)	13:30 ～ 16:30	講座9 「高次脳機能障害について」 ①「高次脳機能障害とは」 講師：京都大学大学院医学研究科 助教 上田 敬太 脳損傷後に現れる認知機能の低下である高次脳機能障害。障害特性、支援のポイント、今後の課題など基本的な理解を深めます。 ②A「京都市高次脳機能障害者支援センターの取組」 講師：京都市高次脳機能障害者支援センター 係長 南部 美紀子 当センターの専門相談等の支援について、事例を交えて紹介します。また、高次脳機能障害のある方の支援に関わる制度の概要を説明します。 B「京都市地域リハビリテーション推進センター障害者支援施設の取組」 講師：京都市地域リハビリテーション推進センター支援施設課 生活訓練係長 荻原 由美子 当施設の対象、利用の流れ、訓練内容などを紹介します。			
		13:30 ～ 15:00	講座10 「知的障害について～身体障害との関連～」 講師：京都市児童福祉センター 発達相談所長 宮野前 由利 知的障害とは何か、その原因となる疾患にはどのようなものがあるのか、また日常生活で気をつけることなどについて実際のケースも交えながらお話しします。			
6/10 (金)	6/3 (金)	15:20 ～ 16:50	講座11 「知的障害のある方への支援の実際」 講師：みやこ西院作業所 支援員 亀村 友紀 知的障害のある方達の就労支援事業所で、どのようなことに工夫、配慮しながら支援しているのか。実際の事例を通して学びます。			1階 研修室

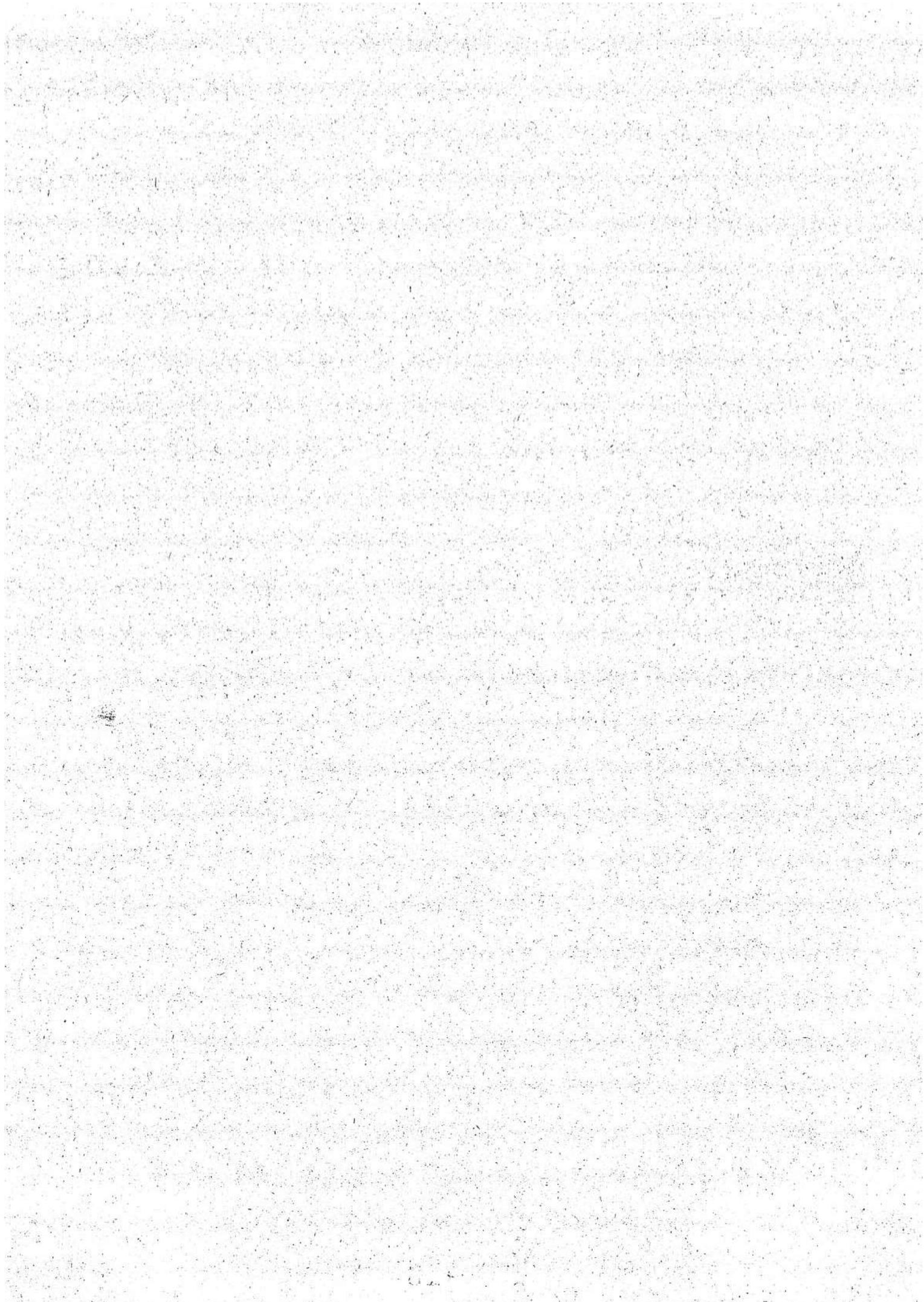


## 研修内容一覧(実習)



※申込多数の場合、初任者の方を優先し、受講をお断りする場合があります。

日程	申込締切	時間	研修内容	会場	定員
5/23 (月) 実習①	5/9 (月)	13:30 ～ 17:00	<b>実習1 「お出かけしよう！」</b> 講師:京都市地域リハビリテーション推進センター 理学療法士 岩下 淳子 作業療法士 上垣 幸衛  「外出する」という事は、介護予防やQOL向上の効果もあり重要なことです。 外出前の身だしなみについての話や、歩行補助用具、短下肢装具、車椅子、 電動車椅子について体験を交えて学びます。  ※各回とも、内容は同様です。動きやすい服装でお越しください。	3階 体育館	各 6名
6/15 (水) 実習②	6/1 (水)				
5/24 (火) 実習③	5/10 (火)	13:30 ～ 17:00	<b>実習2 「ご飯を食べよう！」</b> 講師:京都市地域リハビリテーション推進センター 作業療法士 上垣 幸衛 言語聴覚士 西田 奈都美  食事は生命維持のための栄養補給の他、生きがいを感じる場、他者とのコ ミュニケーションの場として、重要な意味を持ちます。 今回は食事に関連する、身体機能、姿勢、動作、自助具、嚥下機能や、心理 的側面、口腔ケア、コミュニケーションなどについて幅広く考えてみます。  ※カップに入ったゼリーとスプーンを持参して下さい。(お弁当に入れるミニタイ プは不可です。) ※各回とも、内容は同様です。動きやすい服装でお越しください。	4階 A D L 室	各 6名
6/23 (木) 実習④	6/9 (木)				
5/30 (月) 実習⑤	5/16 (月)	13:30 ～ 17:00	<b>実習3 「トイレに行こう！」</b> 講師:京都市地域リハビリテーション推進センター 理学療法士 岩下 淳子 作業療法士 上垣 幸衛  一言に「トイレに行く」と言っても、そのためには、尿意や便意を知覚・コントロ ールすることや、トイレへの移動、下衣の上げ下ろし、座位保持、後始末など、さま ざまな動作・認知能力が要求されます。 これら排泄を行うために必要な心身機能・能力を理解し、福祉用具の選定や 環境整備、介助の仕方などを実際に体験しながら学びます。  ※各回とも、内容は同様です。動きやすい服装でお越しください。	4階 A D L 室	各 6名
6/24 (金) 実習⑥	6/10 (金)				
6/3 (金) 実習⑦	5/20 (金)	13:30 ～ 17:00	<b>実習4 「お風呂に入ろう！」</b> 講師:京都市地域リハビリテーション推進センター 理学療法士 岩下 淳子 作業療法士 上垣 幸衛  入浴動作には、脱衣所までの移動、更衣、洗体、浴槽への出入りなど必要な 動きがたくさんあります。それぞれの動作に必要な身体機能を理解し、福祉用 具の選定や環境整備、介助の仕方などを実際に体験しながら学びます。  ※各回とも、内容は同様です。動きやすい服装でお越しください。	4階 A D L 室	各 6名
6/21 (火) 実習⑧	6/7 (火)				
5/19 (木) 実習⑨	5/5 (木)	13:30 ～ 16:45	<b>実習5 「からだの動かし方研修」</b>  ～介助等における基本的な動かし方について～ 講師:京都市地域リハビリテーション推進センター 理学療法士 岩下淳子  理学療法士が専門的視点から介助動作について解説します。 寝返り、起き上がり、立ち上がり等の基本動作におけるからだの動きを学 び、介助するときどのように対象者を動かせばお互い楽になるのか…を考 えます。 *各回とも、内容は同様です。 *動きやすい服装でお越しください。	1階 研修室	各 8名
6/14 (火) 実習⑩	5/31 (火)				
6/17 (金) 実習⑪	6/3 (金)				
6/28 (火) 実習⑫	6/14 (火)				



平成28年度 京都市地域リハビリテーション推進研修(後期)

研修内容一覧(講座)



日程	申込 締切	時間	研修内容	会場	定員
9/27 (火)	9/20 (火)	13:30 ～ 15:00	<p><b>講座1 「地域で暮らすこと ～その現状と課題～」</b></p> <p>講師:京都市居宅介護等事業連絡協議会 理事 NPO法人ハーモニーきょうと 事務局長 吉田 信吾</p> <p>障害のある方の地域生活について、当事者や御家族の声を理解した支援をするために、どのような課題があるのかを認識し、その課題に対してどのように取り組んでいくことが必要なかを考えます。</p>	京都市地域 リハビリテ ーション推 進センタ ー 1階研修 室	各 64 名
		15:20 ～ 16:50	<p><b>講座2 「虐待防止と合理的配慮～どのような合理的配慮が必要なのか～」</b></p> <p>講師:辻川法律事務所 弁護士 辻川 圭乃</p> <p>障害者虐待の防止の取組を進めるためには、障害特性に応じた支援や環境を提供するなどの「合理的配慮」が重要です。ここでは、合理的配慮とは何か、どのような合理的配慮が必要なのかを考え、利用者支援に直接関わっている皆様 ご自身の支援方法についても振り返っていただき、理解を深めます。</p>		
9/29 (木)	9/23 (金)	10:00 ～ 12:00	<p><b>講座3「要介護度を上げない！～身体機能を維持するためにできること～」</b></p> <p>講師:元 京都市身体障害者リハビリテーションセンター 整形外科医師 福田 知佐子</p> <p>障害のある方や高齢者は、筋肉や関節などの運動器の機能低下が進みやすいといわれています。身体を動かさないと運動器の機能が低下するだけでなく、さらに体力も落ちて、生活機能が低下していくことがあります。その結果、要介護度が上がり寝たきりになってしまうことも…(今話題のロコモティブシンドローム!?)。そうならないよう、介護予防のために日頃からどのようなことに気をつけたらよいのかを学びます。また、簡単にできる機能維持の体操についてもご紹介しますので、実際に体験してみましょう。</p>		
10/4 (火)	9/27 (火)	13:30 ～ 15:00	<p><b>講座4 「発達障害の特性理解とその支援」</b></p> <p>講師:京都市発達障害者支援センター「かがやき」 センター長 村松 陽子</p> <p>発達障害は、とても身近な障害になってきており、たくさんの情報が飛び交っています。今回は、発達障害の特性について、より正確に知識を整理し、理解を深めます。関わる視点や対応のヒントになる考え方についても学びます。</p>		
		15:20 ～ 16:50	<p><b>講座5 「発達障害のある方への支援の実際」</b></p> <p>講師:京都市発達障害者支援センター「かがやき」 支援員 柴田 翔平</p> <p>発達障害のある方が、どのような場面で困り、どのような対応をすれば行動面や心理面の問題につながりにくいのか。その特性をふまえた環境調整、生活場面の関わり方の工夫や対応について学びます。</p>		



平成28年度 京都市地域リハビリテーション推進研修(後期)

研修内容一覧(講座)



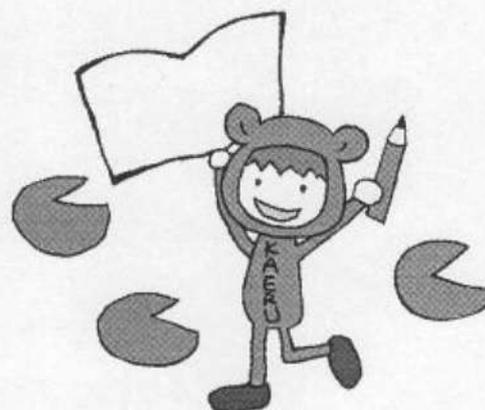
日程	申込締切	時間	研修内容	会場	定員	
10/7 (金)	9/30 (金)	13:30 ～ 15:00	講座6 「80分で分かる認知症 ～知っておきたい基礎知識～」 講師:医療法人三幸会 事業本部 看護介護研究室部長 小亀 勇 認知症を取り巻く現状、その原因となる主な疾患とその症状、そして今日の治療や認知症のある方への支援など、認知症について知っておきたい基礎知識について学びます。	京都市地域リハビリテーション推進センター 1階研修室	各64名	
		15:20 ～ 16:50	講座7 「認知症の人を見守れる地域に向けて」 講師:京都市岩倉地域包括支援センター センター長 松本 恵生 認知症の人を見守れる地域作り、ネットワークについて学びます。認知症による行方不明を防ぐために、事例シートを使ってグループワークを行い、私たちにできることを話し合います。			
10/13 (木)	10/6 (木)	13:30 ～ 15:00	講座8 「アルコール依存症」 講師:医療法人稲門会 いわくら病院 医師 安東 毅 アルコール依存症は、アルコールによって自らの身体を壊してしまうのを始め、家族に迷惑をかけた、様々な事件や事故・問題を引き起こしたりとその支援には困難を極めるものがあります。ここでは、アルコール依存症のメカニズムとその支援方法について学びます。			
10/18 (火)	10/11 (火)	13:30 ～ 15:00	講座9 「失語症の方への理解と対応について」 講師:京都光華女子大学 健康科学部 医療福祉学科 言語聴覚専攻 教授 言語聴覚士 瀬澤 透 失語症の症状、失語症のある方の心理状態などの基本的な理解とそれを踏まえたコミュニケーションの取り方の工夫やツールについての理解を深めます。			
		15:20 ～ 16:50	講座10 「大切ですね、コミュニケーション」 講師:京都市地域リハビリテーション推進センター 心理判定員 富平 美智子 家庭、職場、友人関係など、社会生活を送るのに人間関係は切っても切れません。人間関係を円滑に進めるのに、コミュニケーションは重要なポイントです。御自分の性格や人間関係のクセを知って、普段のコミュニケーションを見直してみませんか？簡単なワークも体験していただきます。			
10/21 (金)	10/14 (金)	13:30 ～ 15:00	講座11 「うつ病について」 講師:社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院 医師 岸 信之 うつ病は年々増加傾向にあります。ここでは、うつ病への理解を深めていただき、支援の現場で踏まえておかなければならないことなどについて学びます。			
11/1 (火)	10/25 (火)	13:30 ～ 15:00	講座12 「摂食嚥下障害とその対応」 講師:京都光華女子大学 健康科学部 医療福祉学科 言語聴覚専攻 准教授 言語聴覚士 関 道子 「食べること」のメカニズムと、摂食嚥下障害のある方への対応について、実習を交えて理解を深めます。また、摂食嚥下障害者支援の地域連携の取組について紹介します。 ※当日は、プリンまたはゼリー1個、飲み物(水、お茶など)、スプーンを各自ご用意ください。			各50名
		15:20 ～ 16:50	講座13 「口腔のケアについて」 講師:公益社団法人 京都府歯科衛生士会 副会長 吉本 美枝 食べる、かむ、飲み込むといった口の機能を維持させるための手入れや、機能低下の予防について、実技を交えて理解を深めます。 ※当日は、歯ブラシ、タオル、手鏡を各自ご用意ください。			

# 平成28年度 京都市地域リハビリテーション推進研修(後期)

## 研修内容一覧(講座)



日程	申込締切	時間	研修内容	会場	定員
11/4 (金)	10/28 (金)	10:00 ～ 12:00	<b>講座14 「精神症状のある方への対応について」</b> 講師:医療法人三幸会 北山病院 看護介護部長 坂井 加津美 幻覚や妄想など精神症状のある方への対応の仕方(コミュニケーションや生活援助)について、また、精神障害者の方を抱える家族の心理や援助について学びます。	京都市地域リハビリテーション推進センター	各64名
		13:30 ～ 15:00	<b>講座15 「精神科訪問看護について ～看護師の役割と今後の課題～」</b> 講師:医療法人三幸会 訪問看護ステーションからすましめい 管理者 鳥井 辰也 長期入院患者の退院後の生活、地域で暮らし続けている利用者にとって、訪問看護は大きな支えとなり様々な役割を担っています。当法人の訪問看護での支援について紹介し今後の課題について検討します。		
		15:20 ～ 16:50	<b>講座16 「就労移行支援とリハビリテーション」</b> 講師:医療法人三幸会 就労支援センター・ヒューマンプラス 管理者 大矢 昌弘 障害者雇用促進法の概要と、精神障害者をとりまく雇用の動向を確認し、当事者からの発表や事例紹介を踏まえて、就労移行支援とリハビリテーションについて考察します。		
11/15 (火)	11/8 (火)	13:30 ～ 15:00	<b>講座17 「生活を支える排泄ケア」</b> 講師:NPO法人 認知症排泄支援の会 代表理事 森田 昌 排尿障害や尿管管理、排便障害などの排泄ケアの基礎知識について理解を深めます。また、その方に合ったオムツの選び方など、実際のケアの場面で役立つ知識や注意点などについて学びます。	1階研修室	
11/22 (火)	11/15 (火)	13:30 ～ 15:00	<b>講座18 「慌てないで！医療的ケアの緊急対応とリスクマネジメント」</b> 講師:社団法人京都保健会 京都民医連中央病院 医師 出島 直 医療的ケアとは何か、どのような状態の方達が必要としているのかを知り、痰吸引や経管栄養を含む呼吸や栄養の一連の援助の理解を含め、緊急対応やリスクマネジメントを行えるように学習します。いざという時慌てないために、何度も学習していただきたい内容です。		
		15:20 ～ 16:50	<b>講座19 「医療的ケア～重度心身障害者の支援～」</b> 講師:社会福祉法人花ノ木 重度心身障害児(者)施設 花ノ木医療福祉センター 作業療法士 板垣 正樹 重度心身障害者への褥そうの予防方法や排痰のポジショニング等、自宅や施設で生活している方のリスクマネジメントを含めた支援の実際を、事例を通して学びます。		



# 平成28年度 京都市地域リハビリテーション推進研修(後期)

## 研修内容一覧(実習)



※申込多数の場合、初任者の方を優先し、受講をお断りする場合があります。

日程	申込締切	時間	研修内容	会場	定員
10/17 (月) 実習①	10/11 (火)	13:30 ～ 17:00	<b>実習1 「お出かけしよう！」</b> 講師：京都市地域リハビリテーション推進センター 理学療法士 岩下 淳子 作業療法士 上垣 幸衛 「外出する」という事は、介護予防やQOL向上の効果もあり重要なことです。 外出前の身だしなみについての話や、歩行補助用具、短下肢装具、車椅子、電動 車椅子について体験を交えて学びます。 ※動きやすい服装でお越しください。	3階 体育館	6名
11/10 (木) 実習②	11/4 (金)	13:30 ～ 17:00	<b>実習2 「ご飯を食べよう！」</b> 講師：京都市地域リハビリテーション推進センター 作業療法士 上垣 幸衛 言語聴覚士 中森 千明 食事は生命維持のための栄養補給の他、生きがいを感じる場、他者とのコミュニ ケーションの場として、重要な意味を持ちます。 今回は食事に関連する、身体機能、姿勢、動作、自助具、嚥下機能や心理的側 面、口腔ケア、コミュニケーションなどについて幅広く考えます。 ※カップに入ったゼリーとスプーンを持参して下さい。(お弁当に入れるミニタイプは 不可です。) ※動きやすい服装でお越しください。	4階 A D L 室	6名
11/16 (水) 実習③	11/9 (水)	13:30 ～ 17:00	<b>実習3 「お風呂に入ろう！」</b> 講師：京都市地域リハビリテーション推進センター 理学療法士 岩下 淳子 作業療法士 上垣 幸衛 入浴動作には、脱衣所までの移動、更衣、洗体、浴槽への出入りなど必要な動き がたくさんあります。それぞれの動作に必要な身体機能を理解し、福祉用具の選定や 環境整備、介助の仕方などを実際に体験しながら学びます。 ※動きやすい服装でお越しください。	4階 A D L 室	6名
12/1 (木) 実習④	11/24 (木)	13:30 ～ 17:00	<b>実習4 「トイレに行こう！」</b> 講師：京都市地域リハビリテーション推進センター 理学療法士 岩下 淳子 作業療法士 上垣 幸衛 一言に「トイレに行く」と言っても、そのためには、尿意や便意を知覚・コントロールする ことや、トイレへの移動、下衣の上げ下ろし、座位保持、後始末など、さまざまな動作・ 認知能力が要求されます。これら排泄を行うために必要な心身機能・能力を理解し、 福祉用具の選定や環境整備、介助の仕方などを実際に体験しながら学びます。 ※動きやすい服装でお越しください。	4階 A D L 室	6名
10/11 (火) 実習⑤	10/4 (火)	13:30 ～ 16:45	<b>実習5 「からだの動かし方研修」</b> ～介助等における基本的な動かし方について～ 講師：京都市地域リハビリテーション推進センター 理学療法士 岩下 淳子	1階 研修室	各 8名
10/27 (木) 実習⑥	10/20 (木)		理学療法士が専門的視点から介助動作について解説します。寝返り、起き上がり、 立ち上がり等の基本動作におけるからだの動きを学び、介助するときどのように対象 者を動かせばお互い楽になるのか…を考えます。		
11/24 (木) 実習⑦	11/17 (木)		※各回とも、内容は同様です。 ※動きやすい服装でお越しください。		

# 平成28年度 京都市地域リハビリテーション推進研修(後期)

## 研修内容一覧(実習)



※申込多数の場合、初任者の方を優先し、受講をお断りする場合があります。

日程	申込締切	時間	研修内容	会場	定員
10/5 (水) 実習⑧	9/28 (水)	13:30 ～ 16:30	<b>実習6「知っていますか！～介助用リフトの正しい使い方～」</b>  講師：京都市地域リハビリテーション推進センター 理学療法士 岩下 淳子 作業療法士 上垣 幸衛  介助用リフトやスリングシートには様々な種類があります。その選択や使い方を誤ると、利用者の負担になったり事故につながる恐れもあります。正しい選択や使い方を学び、より有効に活用できるよう実技を中心に行います。吊られる体験もあり、利用者の気持ちを感じてみましょう。  ※各回とも、内容は同様です、動きやすい服装でお越しください。	4階 A D L 室	各6名
11/11 (金) 実習⑨	11/4 (金)				
11/7 (月) 実習⑩	10/31 (月)	10:00 ～ 12:00	<b>実習7「失語症の方も一緒に楽しめるグループワーク」</b>  講師：京都市地域リハビリテーション推進センター 言語聴覚士 藤田 頼子 言語聴覚士 中森 千明  失語症のある方同士の相互のやりとりを促す活動は、満足度の高いコミュニケーションの機会となるとともに、自分の状態を客観的に受けとめるきっかけになります。失語症の理解を深め、失語症のある方も共に楽しめるレクリエーション活動を考える機会となる体験を行います。 ※日常業務で失語症のある方に接しておられる方が受講対象です。	1階 ミー ティ ング ル ーム	6名
11/8 (火) 実習⑪	11/1 (火)	13:30 ～ 16:30	<b>実習8「車椅子のシーティング、崩れた座位への対処法あれこれ」</b>  講師：京都市地域リハビリテーション推進センター 理学療法士 岩下 淳子 作業療法士 上垣 幸衛 義肢装具士 高木 寛  障害の状況によっては、座位が崩れやすく、何度も座り直すなどの対応を求められることがあります。座位の崩れの原因とその解決方法などを学びます。座りなおしの介助方法や、様々なクッションと身近な物での代用、車椅子の調整方法などを体験します。	1階 研修 室と 3階 体育 館	30名
11/25 (金) 実習⑫	11/18 (金)	13:30 ～ 16:00	<b>実習9「自助具1」</b>  講師：一般社団法人京都府作業療法士会、京・自助具館 ケガや病気で身体機能が低下し、やりにくくなった生活動作は、障害が残っても方法の工夫や福祉用具、自助具の活用で可能になることも多いものです。 実際に使用体験をしながら障害や自助具について理解を深めるほか、簡単な製作体験も実施します。	1階 研修 室	20名
12/3 (土) 実習⑬	11/26 (金)	10:15 ～ 12:00	<b>実習10「自助具2 ～全国自助具フォーラム2016～」</b>  約30の自助具製作ボランティアグループが出展  自助具製作ボランティアグループによるさまざまな自助具の展示や使用体験、実際の事例をとおして、相談から製作に至る過程、完成した自助具の使用状況などの発表があり、相談も可能です。工夫された自助具を体感してみてください。  ※フォーラムは、1日を通して開催されますが、午前か午後の都合のよい時間帯で参加申込ください。	3階 体育 館	20名
12/3 (土) 実習⑭	11/26 (金)	13:00 ～ 15:30			20名
12/5 (月) 実習⑮	11/28 (月)	10:00 ～ 12:00	<b>実習11「ゲームを通じたグループワーク」</b>  講師：京都市地域リハビリテーション推進センター 心理判定員 富平 美智子 作業療法士 宗本 香織  高次脳機能障害がある方などに対してグループ訓練を実施することは、自己・他者意識、意欲を促進させ、集中力を高めるのに有効といわれています。今回の実習では、当センターで実施しているグループワークを体験していただくとともに、その中で見られた利用者さんの変化や気づきをご紹介します。 ※事業所などでグループワークを実施したいと思っている方やされている方が受講対象です。	1階 ミー ティ ング ル ーム	6名

